

令和 7 年度研修計画（就業前長期研修（案））

令和 7 年 1 月現在

科目	細目	実施内容	R6			R7			改善点	
			座学	実技	合計	座学	実技	合計		
I 林業に関する幅広い知識の習得										
1	森林・林業	森林・林業の基礎	森林の多様性と林業の社会的役割を理解するとともに、林業技術者となるための基礎的な知識を習得する。	24.0	35.0	59.0	24.0	35.0	59.0	
2	林産利用	木材流通概論（需給とSCM）	林業経営の基礎とするため、木材流通・加工及び特用林産物に関する基礎知識を習得する。	16.0	33.0	49.0	21.0	28.0	49.0	座学+5 実技△5
3	林業経営・先端技術等	林業経営の基礎	林業の効率化に資する各種ICT機器の活用について理解するとともに、林業経営の仕組みと本県特有の課題である放射性物質の現状と課題・対策を習得する。	22.0	86.0	108.0	22.0	82.5	104.5	時限数の減 実技△3.5
計				62.0	154.0	216.0	67.0	145.5	212.5	
II 森林施業技術の習得										
1	造林・育林	育苗	健全な森林の維持に必要な造林・育林技術の基礎を習得する。	24.0	106.0	130.0	24.0	106.0	130.0	
2	伐木・造材	チェーンソーの取扱と安全性の追求	素材生産を安全に行うために必要となる伐木・造材技術の基礎を習得する。	17.0	267.0	284.0	17.0	277.5	294.5	時限数の増 実技+10.5
3	測量・測樹	境界管理	森林管理に必要な調査・測量技術の基礎を習得する。	18.0	46.0	64.0	18.0	49.0	67.0	時限数の増 実技+3.0
4	林業機械・路網	高性能林業機械運転技術	安全で効率的な林業経営に資する高性能林業機械や林内路網について理解を深めるとともに、操作技術や作設技術等の基礎を習得する。	10.0	144.0	154.0	10.0	144.0	154.0	
5	安全衛生	安全の基礎	林業における安全の重要性を理解するとともに、安全確保のための活動に関する基礎を習得する。	14.0	18.0	32.0	14.0	18.0	32.0	
計				83.0	581.0	664.0	83.0	594.5	677.5	

令和 7 年度研修計画（就業前長期研修（案））

令和 7 年 1 月現在

科目	細目	実施内容	R6			R7			改善点
			座学	実技	合計	座学	実技	合計	
Ⅲ 資格の取得									
1	救命講習	救命訓練							
		赤十字救急法基礎講習認定証、救急法救急員養成講習認定証を取得する。	5.5	11.5	17.0	5.5	11.5	17.0	
2	刈払機	刈払い等業務の基礎							
		刈払機の安全衛生教育を受講し、修了証を取得する。	5.0	1.0	6.0	5.0	1.0	6.0	
3	伐木	伐木等業務の基礎							
		伐木等の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。	9.0	9.0	18.0	9.0	9.0	18.0	
4	高性能林業機械等	機械集材、走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎							
		高性能林業機械運転に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。	14.0	21.0	35.0	14.0	21.0	35.0	
5	車両系建設機械	車両系建設機械運転技術							
		車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）運転技能講習を受講し、修了証を取得する。	15.0	25.0	40.0	15.0	25.0	40.0	
6	不整地運搬車	不整地運搬車運転技術							
		不整地運搬車運転技能講習を受講し、修了証を取得する。	9.0	11.0	20.0	9.0	5.0	14.0	時限数の減 座学△6.0
7	小型移動式クレーン	小型移動式クレーン運転技術							
		小型移動式クレーン運転技能講習を受講し、修了証を取得する。	14.0	7.0	21.0	14.0	7.0	21.0	
8	玉掛	玉掛け技術							
		玉掛け技能講習を受講し、修了証を取得する。	11.0	6.0	17.0	11.0	6.0	17.0	
9	墜落制止用器具	ロープ高所作業技術							
		ロープ高所作業の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。	4.0	3.0	7.0	4.0	3.0	7.0	
10	ロープ高所作業	フルハーネス型安全帯使用作業							
		墜落制止用器具を用いて行う作業の業務に係る特別教育を受講し、修了証を取得する。	4.0	2.0	6.0	4.0	2.0	6.0	
11	架線集材	架線集材							
		林業架線作業主任者免許規程に基づく林業架線作業講習を修了する。	49.0	56.0	105.0	49.0	56.0	105.0	
計			139.5	152.5	292.0	139.5	146.5	286.0	
Ⅳ インターンシップの実施等									
1	就業体験	就業体験（インターンシップ）							
		林業の現場や就業の具体的なイメージをつかむとともに、自らの希望に沿う就業先となりうる企業の情報収集を行う。	44.0	147.0	191.0	44.0	147.0	191.0	
2	総合講義	オリエンテーション							
		社会人として林業に携わりながら生活する上でのマナーや姿勢を習得する。	101.0	37.0	138.0	97.0	37.0	134.0	時限数の減 座学△4.0
計			145.0	184.0	329.0	141.0	184.0	325.0	
合計			429.5	1,071.5	1,501.0	430.5	1,070.5	1,501.0	

令和7年度研修計画（短期研修）

研修講座	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先		
				市町村	林業事業	県職員
1 森林・林業の基礎	地域の森林・林業の中心的役割を担う市町村林務担当職員等を対象に、森林・林業に関する基礎的な知識を習得させ、担当業務を円滑に遂行できる職員を育成する。	森林・林業の基礎知識、優良林業事業者・木材市場等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割等	市町村林務担当職員等（初任者レベル）	○	△	△
2 森林整備事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林整備事業の概要、ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業、森林整備発注業務の実務、航空レーザー計測の林業への活用	市町村林務担当職員等（実務担当者）	○		△
3 森林計画制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林計画制度、市町村森林整備計画の実行管理（森林経営計画、林地台帳、伐採届、森林土地所有者届）、森林境界明確化等	市町村林務担当職員等（実務担当者）	○	△	△
4 森林土木事業の実務	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要な知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる職員を育成する。	森林土木事業の概要（治山・路網） 林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習	・市町村林務担当職員（実務担当者）	○	△※1 日目のみ可	△
5 測量・森林調査の基礎	測量（コンパス測量、レベル測量、ポール測量）の現場実習等を通じて測量機器の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務及び樹木測定等の調査ができる職員を育成する。	測量・作図実習、森林調査実習	・市町村林務担当職員等（実務担当者）	○	△	△
6 森林経営管理制度の実務（林業事業者対象）	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林所有者への意向調査、経営管理実施権の配分	林業従事者等	△	○	△
7 森林経営管理制度の実務（市町村対象）	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度・森林環境譲与税の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務、意向調査の実施計画作成、経営管理権集積計画作成、所有者探索業務	市町村林務担当職員（実務担当者）	○	△	△
8 路網整備と作業システム	路網整備と作業システムに関する知識及び技術の習得により、地域における効率的な施業方法を計画・実行できる技術者を育成する。	効率的な森林施業システムの考え方、路網を活かした森林作業システムの検討実習、ICT等先端技術の活用、路網を活用した森林作業システムの現地検討	市町村林務担当職員（実務担当者）及び林業従事者等	○	○	△

R6実績

実施時期	研修日数	出席人数	開催場所
令和6年4月24日～25日	2日	20名	林業研究センターほか
令和6年5月10日	1日	9名	林業研究センター
令和6年5月23日～24日	2日	22名	林業研究センター
令和6年5月29日～30日	2日	13名	林業研究センター
令和6年6月6日～7日	2日	19名	林業研究センター
令和6年8月8日	1日	8名	林業研究センター
令和6年9月19日～20日	2日	13名	林業研究センター
令和6年7月24日～26日	3日	5名	林業研究センター

R7計画

実施時期（予定）	研修日数	定員	開催場所
令和7年4月23日～24日	2日	20名	林業研究センターほか
令和7年5月13日	1日	20名	林業研究センター
令和7年5月21日～22日	2日	20名	林業研究センター
令和7年5月29日～30日	2日	20名	林業研究センター
令和7年6月12日～13日	2日	12名	林業研究センター
令和7年6月24日	1日	20名	林業研究センター
令和7年9月18日～19日	2日	20名	林業研究センター
令和7年7月8日～9日	2日	20名	林業研究センター

令和7年度研修計画（短期研修）

研修講座	研修の必要性	主な内容	主な対象者	○の対象者優先		
				市町村	林業事業	県職員
9 提案型集約化 施業（基礎）	森林所有者に対する施業提案書の作成や提示、森林施業の集約化ができる、森林経営計画の作成の中核を担う技術者を育成する。	認定プランナー制度、提案型集約施業の基礎、補助制度、過去問演習	森林施業プランナーを目指す者	△	○	△
10 提案型集約化 施業（実践）	本県の森林が本格的な利用期を迎えている中で、プランナーには皆伐再造林の施業提案能力が求められることから、新たなプランニング能力を有する者を育成する。	皆伐再造林の実例、皆伐再造林施業の進め方、路網設計、収支計算、森林施業プラン作成 等	森林施業プランナー 等	△	○	△
11 技能検定制度の概要 安全な伐木等 作業技術（座学）	林業の技能検定制度が創設されるため、制度の概要や技能検定試験内容を林業事業者等へ広く周知するとともに、受験に向けた実技トレーニングを実施する。 伐木等作業時の労働災害を防止するため、安全かつ正確な技術を有する林業従事者を育成する。	技能検定制度の概要、試験内容（座学） 実技デモンストレーション（見学） 実技トレーニング（実技） 新たに創設された林業技能検定制度	林業従事者及び関係団体等	△	○	△
12 安全な伐木等 作業技術（実技）	伐木等作業時の労働災害を防止するため、安全かつ正確な技術を有する林業従事者を育成する。	安全かつ正確な伐木等作業技術を習得するための反復練習	林業従事者等	△	○	△
13 最先端の林業 技術	森林施業の効率化・省力化を可能にするため、ICT等の最新の林業技術を習得させる。	大型ドローンによる苗木運搬、3Dレーザースキャナを活用した森林調査、路網設計支援ソフトを使用した線形計画	市町村林務担当職員及び林業従事者 等	○	○	△
14 森林・林業でのドローン活用	ドローン等技術の活用により、森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化及び効率化を図るため、ドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術を習得する。	森林・林業でのドローン活用事例、航空法等の関係法令、ドローンの操縦方法、ドローンの基礎操縦・飛行撮影、オルソ画像作成	市町村林務担当職員及び林業従事者 等	○	○	△

※「○の対象者優先」覧について：参加者多数の場合、○が記された対象者が優先的に参加となります。○または△の記載が無い講座には参加できませんのでご注意ください。

R6実績

実施時期	研修日数	出席人数	開催場所
令和6年7月9日～10日	2日	10名	林業研究センターほか
令和6年9月24日～27日 令和6年10月8日～10日	7日	3名	林業研究センター
令和6年8月22日～23日	2日	12名	林業研究センター
令和6年8月27日～30日	4日	7名	林業研究センター

R7計画

実施時期（予定）	研修日数	定員	開催場所
令和7年7月22日	1日	12名	林業研究センター
令和7年7月23日～24日	2日	12名	林業研究センターほか
令和7年8月25日	1日	30名	林業研究センター
令和7年8月26日	1日	5名	林業研究センター
令和7年10月9日～10日	2日	15名	林業研究センター
令和7年9月30日～10月3日	4日	12名	林業研究センター